

## スマートフォンの利用者証明機能を活用したユースケース提案(一覧)

---

平成28年2月16日

ユースケース	概要	導入メリット	利用形態
インターネット銀行・証券へのログイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ネットバンキング等のログイン時にスマートフォンの利用者証明機能による本人確認を行って、口座の残高照会、株式の取引、口座資金の移動等。</li> </ul>	<p>【利用者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ID・PW入力簡素化、PW管理の手間の削減</li> <li>・リーダライタが不要。いつでもサービス利用可能</li> </ul> <p>【サービス提供事業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全な認証手段により利用者からの信頼性の向上</li> <li>・利用者の死亡、海外出国等の状況変化を把握</li> </ul>	スマートフォンアプリから提供
クレジット決済	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 店頭あるいはEC店舗において、クレジットカード代わりにスマートフォンの利用者証明機能で本人確認を行って、クレジット決済、クレジット履歴の閲覧を提供。</li> </ul>	<p>【利用者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複数のカードを持参することが不要</li> </ul> <p>【サービス提供事業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全な認証手段により利用者からの信頼性の向上</li> <li>・利用者の死亡、海外出国等の状況変化を把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートフォンアプリから提供</li> <li>・マイナンバーカードの代わりにリーダにかさす</li> </ul>
プリペイド決済	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 店頭あるいはEC店舗において、プリペイドカード代わりにスマートフォンの利用者証明機能で本人確認を行って、プリペイドで決済。</li> </ul>	<p>【利用者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複数のカードを持参することが不要</li> </ul> <p>【サービス提供事業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い年齢層にサービスを提供可能、利用用途を限定したい給付金等への活用も可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートフォンアプリから提供</li> <li>・マイナンバーカードの代わりにリーダにかさす</li> </ul>
健康保険の被保険者の資格確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 健康保険者証を提示する代わりにスマートフォンの利用者証明機能で本人確認と保険資格の有無について確認。</li> </ul>	<p>【利用者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・急病や事故など不意に医療機関を受診する時でも保険資格の有無確認が可能</li> </ul> <p>【サービス提供事業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資格確認漏れの防止</li> <li>・マイナンバーカードを持ち込まなくても資格確認可能。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マイナンバーカードの代わりにリーダにかさす</li> </ul>
電子チケット	<ul style="list-style-type: none"> <li>● インターネットやキオスク端末からチケット購入時やイベント会場での入場時の本人確認にスマートフォンの利用者証明機能を使って行う。また、入場時にはスマートフォンの画面に会場や座席等を表示。</li> </ul>	<p>【利用者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント会場への身分証明書類の携帯が不要</li> </ul> <p>【サービス提供事業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チケットとの不正転売を防止</li> <li>・紙での座席表印字が不要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートフォンアプリから提供</li> <li>・マイナンバーカードの代わりにリーダにかさす</li> </ul>

ユースケース	概要	導入メリット	利用形態
企業内システムへのログイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 外出先から社内システムへのアクセス時において、スマートフォンの利用者証明機能を使って本人確認を実施し、システムへのアクセスを許可（BYODなど）</li> </ul>	<p>【利用者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者ID・PW忘れ対策、本人確認の簡素化</li> <li>・いつでも、どこでも、社内システムのアクセス</li> </ul> <p>【サービス提供事業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社員証の発行コスト、社内認証システム整備コストの削減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートフォンのアプリから提供</li> </ul>
個人あてのpush型通知の閲覧	<ul style="list-style-type: none"> <li>● スマートフォンあてにタイムリーにリコメンド情報やクーポン配信等を行う際、セキュリティレベルの高い情報については、スマートフォンの利用者証明機能で本人確認を行った上で閲覧を許可する。</li> </ul>	<p>【利用者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いつでもどこでも確認が可能</li> </ul> <p>【サービス提供事業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タイミングを逃さない情報提供が可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートフォンのアプリから提供</li> </ul>
子育て支援に関する情報の閲覧	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 保育所の空き状況、予防接種履歴等子育てに必要な情報配信をスマートフォン向けに行い、スマートフォンの利用者証明機能で本人確認を行った上で当該情報を閲覧する。</li> </ul>	<p>【利用者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いつでもどこでも安心して子育て支援情報を取得</li> </ul> <p>【サービス提供事業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全な認証手段により利用者からの信頼性の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートフォンのアプリから提供</li> </ul>
音声応答によるセルフサービス（IVR）における申請受付	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音声応答システム（IVR）でのセルフサービス利用時（残高照会など）において、スマートフォンの利用者証明機能を使って本人確認を行い、申請を受付。</li> </ul>	<p>【利用者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者ID・PW忘れ対策、本人確認の簡素化</li> </ul> <p>【サービス提供事業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なりすましリスクの解消、本人確認作業の効率化と正確性の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートフォンのアプリから提供</li> </ul>
電話による問い合わせ時の会員確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 金融分野や通信分野において行う電話受付時の本人確認時におけるスマートフォンによる本人確認を実施</li> </ul>	<p>【利用者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者ID、PW忘れ対策、本人確認の簡素化</li> </ul> <p>【サービス提供事業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なりすましリスクの解消、本人確認作業の効率化と正確性の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートフォンのアプリから提供</li> </ul>

ユースケース	概要	導入メリット	利用形態
避難所における避難者名簿の作成、安否確認サービスへの登録	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 避難所における避難者名簿の作成</li> <li>● 民間サービスに安否情報を登録する際、スマートフォンの利用者証明機能で本人確認し、安否を登録</li> </ul>	<p>【利用者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・氏名住所等の記入作業が不要</li> </ul> <p>【サービス提供事業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難者名簿の迅速な作成・効率化</li> <li>・安否情報の正確性、確実性、迅速性を確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マイナンバーカードの代わりにリーダにかさす</li> </ul>
お薬手帳、健診情報、予防接種情報の登録、閲覧	<ul style="list-style-type: none"> <li>● お薬手帳、健診情報、予防接種等の情報をスマートフォンの利用者証明機能で本人確認し、電子的に登録、閲覧。</li> <li>● 服薬通知を当該利用者のスマートフォンあてに通知</li> </ul>	<p>【利用者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手帳等の持ち歩きが不要</li> <li>・緊急時などいつでも投薬情報などの確認が可能</li> <li>・服薬忘れの防止</li> </ul> <p>【サービス提供事業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・I D・P Wによる本人確認より、セキュリティの向上</li> <li>・処方歴や投薬情報等の即時確認により安全性の向上</li> <li>・医療現場の事務処理の負荷軽減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートフォンのアプリから提供</li> <li>・マイナンバーカードの代わりにリーダにかさす</li> </ul>
栄養管理支援、運動指導、健康管理支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>● クラウドに登録された健診情報等をスマートフォンの利用者証明機能で本人確認し情報を閲覧。また、遠隔により当該情報を活用して、医師等（同様に利用者証明機能で本人確認）してから健康指導を受ける。</li> </ul>	<p>【利用者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いつでもどこでも自己の健康指導を享受可能</li> </ul> <p>【サービス提供事業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正確な情報をもとに的確な指導が可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートフォンのアプリから提供</li> </ul>
母子健康情報サービスの閲覧	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 母子健康手帳に記載された情報（予防接種データ、健診記録等）をスマートフォンから閲覧する際、スマートフォンの利用者証明機能を使って本人確認を実施</li> </ul>	<p>【利用者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いつでもどこでも、母子健康情報の確認が可能</li> </ul> <p>【サービス提供事業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民に対する行政サービスの向上</li> <li>・安全な認証手段により利用者からの信頼性の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートフォンのアプリから提供</li> </ul>
行政からの各種通知、広報	<ul style="list-style-type: none"> <li>● スマートフォンから電子私書箱の納税通知書等を閲覧する際、スマートフォンの利用者証明機能で本人確認後、電子私書箱の通知内容へのアクセス。</li> </ul>	<p>【利用者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な情報を確実かつ迅速に取得</li> </ul> <p>【サービス提供事業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・郵送による封入封緘、郵送料等の削減効果</li> <li>・必要な市民に対して確実な周知を実現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートフォンのアプリから提供</li> </ul>

ユースケース	概要	導入メリット	利用形態
パブリックコメントの受付	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 意見聴取システムにおけるパブリックコメントやネットアンケート時においてスマートフォンの利用者証明機能で本人確認を行い、意見の受付を実施。 【署名用電子証明書で利用者登録を実施】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【利用者】</li> <li>・いつでもどこでも意見の提出が可能</li> <li>【サービス提供事業者】</li> <li>・重複回答者の排除による信頼性の向上</li> <li>・郵送に係るコストや作業コストの削減</li> <li>・パブリックコメントにおける本人確認が可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートフォンのアプリから提供</li> </ul>
市民向けのセミナー等の参加受付	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市民向けセミナー、イベント募集等においてスマートフォンの利用者証明機能で本人確認を行ってから参加の申込みを受付。 【署名用電子証明書で利用者を登録】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【利用者】</li> <li>・いつでもどこでも申込みが可能</li> <li>【サービス提供事業者】</li> <li>・回答はがきの集約作業の効率化</li> <li>・郵送による封入封緘、郵送料等の削減効果</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートフォンのアプリから提供</li> </ul>
投票所における投票者の本人確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 投票所における名簿対照（本人確認）業務における本人確認、名簿消しこみ 【署名用電子証明書で利用者登録を実施】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【利用者】</li> <li>・投票に係る待ち時間等が短縮</li> <li>【サービス提供事業者】</li> <li>・本人確認及び名簿作成の迅速な作成・効率化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マイナンバーカードの代わりにリーダにかさす</li> </ul>
年齢等使用制限コンテンツの利用に係る条件判定	<ul style="list-style-type: none"> <li>● スマートフォンのコンテンツの課金、成人向けサービスの使用などにおいて、利用者証明用電子証明書から、申込み者の年齢等の利用かどうかについて判定を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【利用者】</li> <li>・サービスの幅の拡大 (→サービス利用時における年齢証明情報提示等の手続き簡易化)</li> <li>【サービス提供事業者】</li> <li>・ネットサービス提供における正しい運用が可能 (→サービス提供時における年齢判定手段の拡大)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートフォンのアプリから提供</li> </ul>
メール送信者に対する認証（迷惑メール対策）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● スマートフォンに格納された利用者証明機能を使って送信者の本人確認が行われたメールのみ受信者に送信 【署名用電子証明書で利用者登録を実施】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【利用者】</li> <li>・迷惑メールの防止</li> <li>【サービス提供事業者】</li> <li>・迷惑メールによりサーバ負荷軽減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートフォンのアプリから提供</li> </ul>

ユースケース	概要	導入メリット	利用形態
インターネット選挙活動における候補者の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 有権者への電子メールによる選挙活動において、候補者の本人確認・及び候補者リストとのマッチングを行い、正当な候補者のメールのみ送信</li> </ul>	<p>【利用者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正当な候補者からの選挙活動のメールのみ受信</li> </ul> <p>【サービス提供事業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・匿名メール、偽候補者による選挙活動防止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートフォンのアプリから提供</li> </ul>
少額決済サービスにおけるキャリア決済、I S P 決済（M V N O 決済）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● プロバイダ等が提供するオンライン店舗での少額決済サービスにおける本人確認に、会員認証に加えて、スマートフォンの利用者証明機能を使って本人認証を実施し、決済</li> </ul>	<p>【利用者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クレジット契約できないユーザも同様の質のサービスを楽しむことができる</li> </ul> <p>【サービス提供事業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の本人確認精度が向上し、安全性の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートフォンのアプリから提供</li> <li>・マイナンバーカードの代わりにリーダーにかさす</li> </ul>
SNSサービス等における本人確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>● インターネット上の会話（SNSなど）において、なりすましや匿名の誹謗中傷を行う者に対して、スマートフォンの利用者証明機能を使って本人確認を行う。 【署名用電子証明書で利用者を登録】</li> </ul>	<p>【利用者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・抑止効果</li> </ul> <p>【サービス提供事業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の依頼を受けて迅速な対応が可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートフォンのアプリから提供</li> </ul>

- 「公的個人認証サービス」の活用により、安全・確実な本人確認等が可能となり、高いセキュリティレベルが要求される各種サービスにおける様々な利用シーンが想定
- 具体的には、以下の3つのユースケースモデルに分類することが可能

ユースケース概要	メリット	適用例
<p><b>1. 本人確認</b></p> <p>各種サービス契約・提供時において、利用者が本人であることを確認する業務</p>	<p>○利用者 公的証明書のコピー、郵送等の手間が省ける。</p> <p>○本人確認事業者 電子的本人確認が可能となり、適切なサービス提供等が可能となる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・携帯電話契約時の本人確認</li> <li>・生命保険契約時の本人確認</li> <li>・銀行口座開設時の本人確認</li> </ul>
<p><b>2. 資格確認</b></p> <p>各種サービス提供時において、利用者にサービスを受ける資格があることを確認する業務</p>	<p>○利用者 1枚のカードで多種多様なサービスを受けることができる。</p> <p>○資格確認事業者 電子的資格確認が可能となり、適切なサービス提供等が可能となる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・IP-VODサービス提供時の資格確認</li> <li>・支払/預金引落とし等の資格確認</li> </ul>
<p><b>3. 変更確認</b></p> <p>各種サービスの契約者の基本4情報の変更の有無を確認する業務</p>	<p>○利用者 変更確認事業者に対する基本情報等の変更手続きを失念していた場合について、アナウンスを受けることが可能となる。</p> <p>○変更確認事業者 利用者における電子証明書の有効性が確認でき、基本4情報等に対する何かしらの変更が入ったこと等が確認できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生命保険契約者の変更情報確認</li> <li>・銀行口座契約者の変更情報確認</li> <li>・権利者団体構成員の変更情報確認</li> </ul>

# スマートフォンでのJPKI利用のユースケース案 について

# ケース1：お薬手帳（処方箋）の登録、閲覧

- 利用者は医療機関で処方された調剤情報や薬局で投薬された情報をスマートフォンを利用した本人確認により閲覧します（利用者はお薬手帳を持ち歩く必要がなく、緊急時などいつでもお薬情報が閲覧できます）
- 利用者のスマートフォンに服薬時刻等の通知を行い、利用者はスマートフォンから服薬した情報を本人確認の上登録します（利用者は服薬忘れの防止ができ、医療機関では服薬効果を把握することが可能となります）
- 現状の電子お薬手帳で主流であるID・パスワードによる本人確認に比べ、セキュリティ対策の向上が図れます

自宅など

病院・診療所

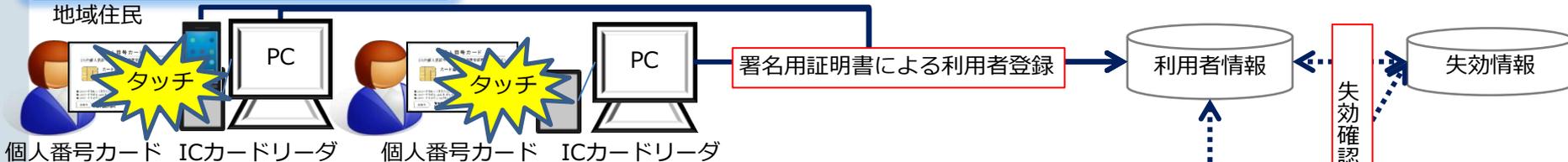
薬局

自治体・地域医療NW

J-LIS

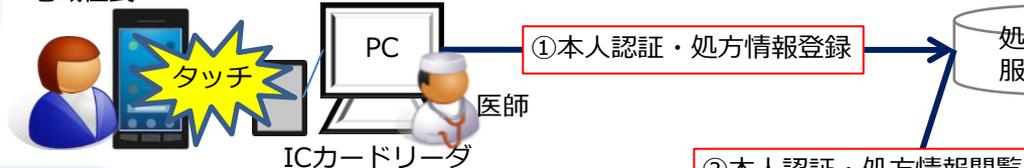
## （事前）利用者の登録・申請

地域住民



## ①処方情報の登録

地域住民



## ②処方情報の閲覧・調剤

②本人認証・処方情報閲覧



## ③服薬情報の登録・調剤情報の閲覧

地域住民

サイトアクセス

③服薬通知・本人認証・服薬登録・調剤履歴閲覧



## 実証課題

- 高齢者等におけるスマートフォン利用の操作性
- 未成年利用者における親の利用や管理方法
- 既存の利用者情報との紐付
- スマートフォン所有者とサービス利用者との管理
- スマートフォン変更時やキャリア変更時の証明書の更新

# ケース2：電話受付での本人確認

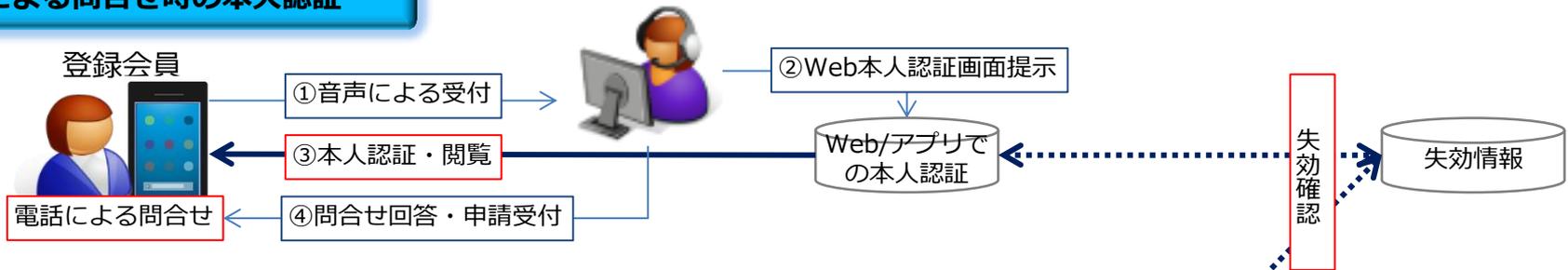
## (1)電話での本人確認時の認証 (2)音声応答によるセルフサービス (IVR) での認証

- スマートフォンからコンタクトセンターのオペレータに接続後、会話中に会員確認のため本人認証画面を提示し、本人確認を実施後、各種問合せの受付を行います
- スマートフォンから音声応答システム (IVR) のセルフサービスにて本人認証を実施後、各種申請受付を音声応答システムで実施します
- 電話での氏名、生年月日、住所、電話番号や利用者ID等の確認に比べ、事業者は本人なりすましのリスク解消や本人確認行為の効率化や正確性向上が図れ、利用者は利用者ID、パスワード忘れ等の対策や本人確認行為の簡素化が図れます

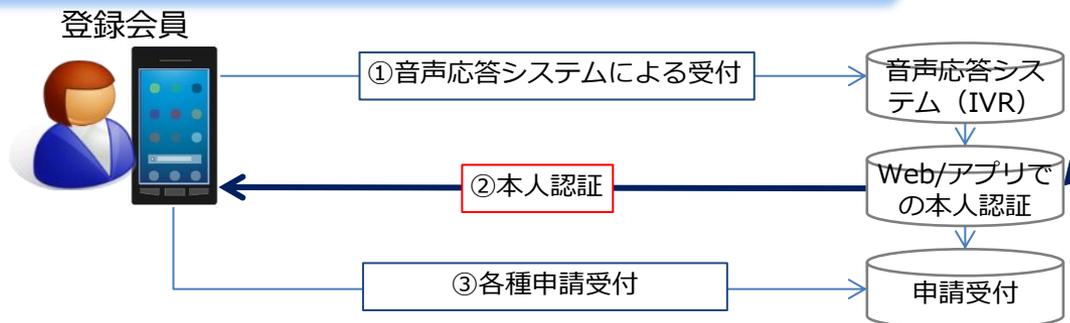
企業等 (コンタクトセンター)

J-LIS

### 電話による問合せ時の本人認証



### 音声応答システム (IVR) のセルフサービスによる本人認証



### 実証課題

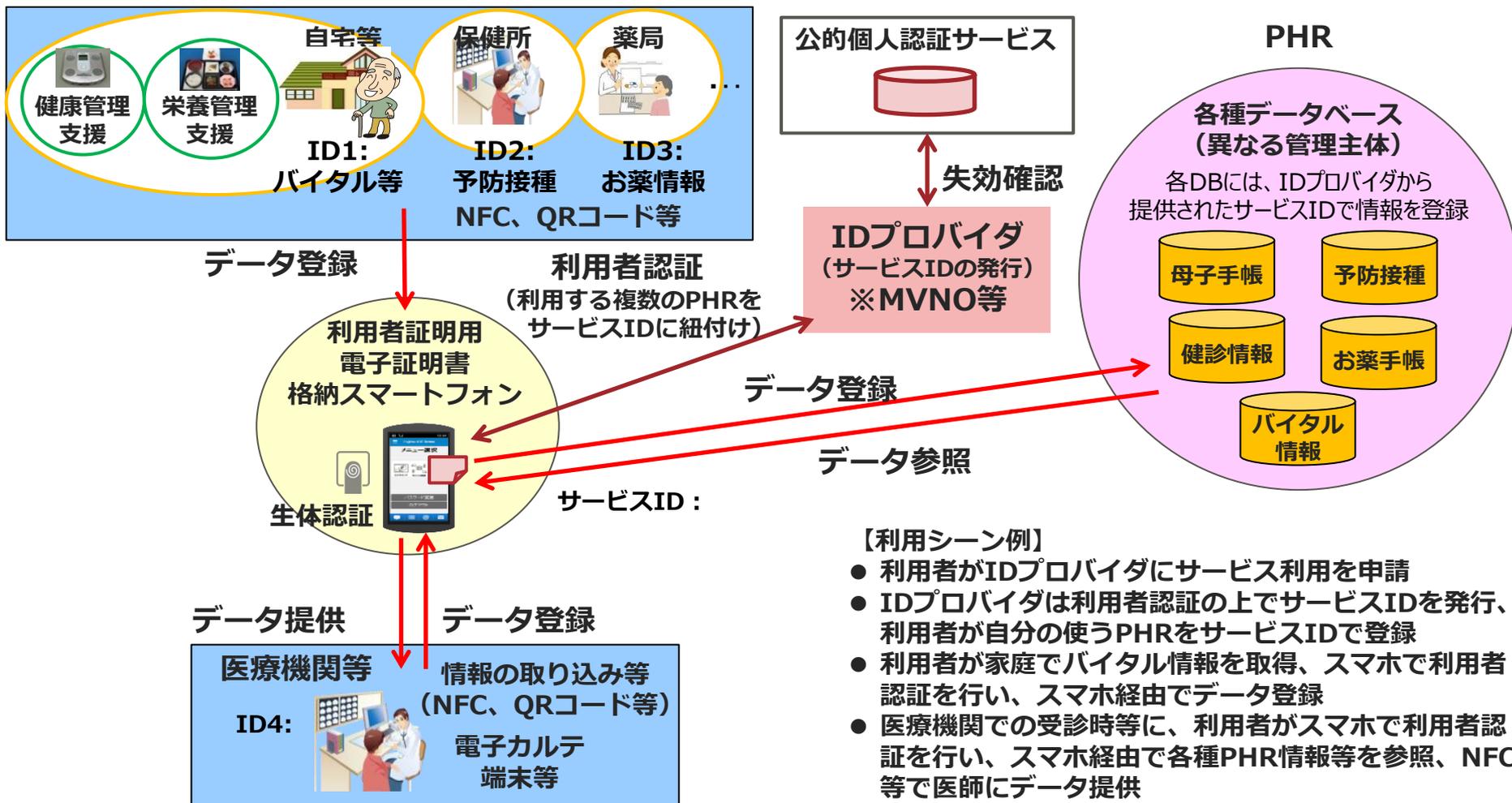
- 高齢者等におけるスマートフォン利用の操作性
- スマートフォンアプリ等への組込
- 既存の会員情報との紐付
- 音声会話中における認証方法
- スマートフォン所有者とサービス利用者との管理
- スマートフォン変更時やキャリア変更時の証明書の更新

# 利用者証明機能のスマートフォンへの ダウンロードを活用したユースケース

**2016年2月16日**  
**富士通株式会社**

# ユースケース：PHR利活用サービス

医療機関等において、スマートフォンを利用して各種PHRを活用（データ登録、参照、提供）。公的個人認証サービスによる厳格な本人確認を組み合わせることで、PHRサービスの利便性・安全性を高める。



## ■ 想定される利用効果

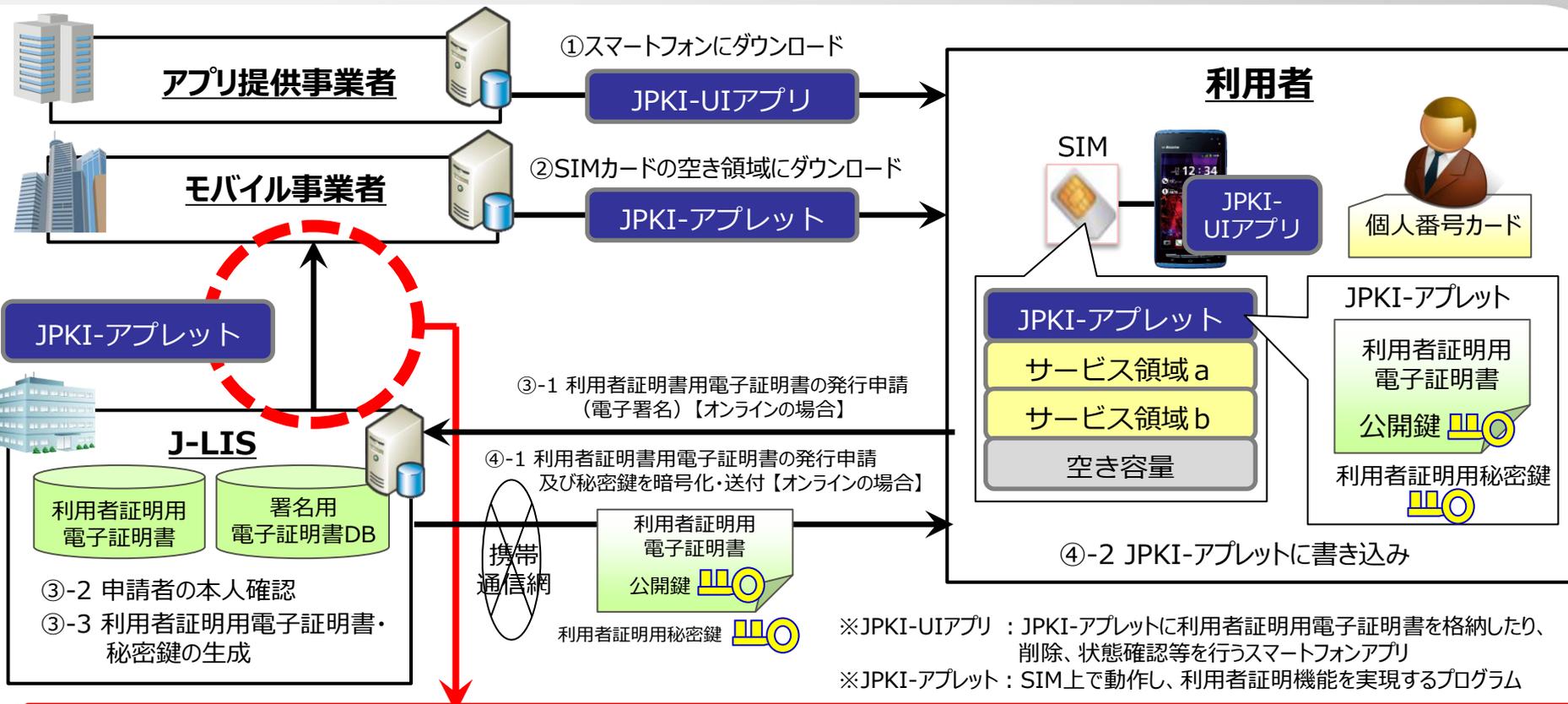
- 管理主体やID体系の異なる複数のPHR情報を、共通のサービスIDにて一元的に登録・管理することが可能。また、医療機関等が各PHRサービスと個別にシステム連携する負担を軽減（共通プラットフォーム的な位置づけ）
- スマートフォン利用により、診療現場でデータの取込み等を行なうことで、データ参照・登録を簡易化（従来は紙情報を別途手入力する等の手間が必要）
- 公的個人認証サービス及びスマートフォンの生体認証等の利用により、安全性・便利性を向上

## ■ 検証すべき課題

（利用者証明用電子証明書のSIMへの格納に係る課題に加えて）

- 利用者認証やデータ登録・参照に係るユーザビリティ、既存システムとの連携等の検証
- 医療機関等における導入・運用、本人同意の在り方等に係る課題等の検証
- ビジネスモデルの検証

# ※MVNOユーザへの対応について



- 利用者認証機能のスマートフォンへのダウンロードの実現にあたり、MNOユーザに加えてMVNOユーザも同様のサービスを利用出来ることが望ましい
- 上記のモバイル事業者をMVNO事業者とする場合、下記の検討が必要と考えます
  - ① 当該機能のMVNOへの開放
  - ② MVNO事業者による厳格な利用者情報管理の担保  
(JPKI-アプレットが適正なものかの検証や、運用ガイドライン等の必要性の検討等)



**FUJITSU**

shaping tomorrow with you

スマートフォンへの利用者証明用機能のダウンロード検討SWG（第3回）

# スマートフォン活用ユースケース例（NEC）

2016年2月16日

日本電気株式会社

番号事業推進本部

# Orchestrating a brighter world

未来に向かい、人が生きる、豊かに生きるために欠かせないもの。  
それは「安全」「安心」「効率」「公平」という価値が実現された社会です。

NECは、ネットワーク技術とコンピューティング技術をあわせ持つ  
類のないインテグレーターとしてリーダーシップを発揮し、  
卓越した技術とさまざまな知見やアイデアを融合することで、  
世界の国々や地域の人々と協奏しながら、  
明るく希望に満ちた暮らしと社会を実現し、未来につなげていきます。



## スマートフォンの特長



**常時  
持ち歩き**

携帯を意識する  
必要なし

**常時電源  
ON**

パソコンを  
起動するより楽

**アプリに  
よる画面  
表示可**

有効期限等の  
表示が容易

**カメラ  
内蔵**

顔による  
利用者認証可能

## 特徴を活かしたユースケース例

### ユースケース① ペーパーレス/カードレスの休日



#### ① 電子チケット

座席位置や予約ホテルの場所等の画面表示が可能

#### ② スマホ決済 (クレジットカードレス決済)

顔認証による持ち主確認  
紐付情報 (クレジットカード等) の画面表示

#### ③ 個人別プッシュ型情報配信

携帯メールでタイムリーに受信可能  
→ 顧客の行動履歴からリコメンド情報や  
クーポン配信等も可能



### ユースケース② こども子育て支援



#### ① 〈待機児童保護者向け〉 保育所入所情報照会

いつでもどこでも保育所の空き状況確認が可能

#### ② 児童手当情報プッシュ型配信

所得情報が考慮された情報の受信が可能

#### ③ 予防接種履歴情報照

自治体を跨る予防接種履歴の閲覧が可能

#### ④ 乳幼児医療証

医療証の券面情報の画面表示  
画面切り替え等で健康保険証との併用が可能





## ICカードはちょっと不便？

- カードとスマートフォン両方を持ち歩く必要がある
- 必要に応じて、都度出すことのストレス

## スマートフォンなら

- 持ち歩くのはスマホのみ
- SNSや電話で使うため、常時出しやすいところに携帯しているケースが多い





## ① 電子チケット (購入～入場)

スマホで  
チケット申し込み



電子証明書に  
チケット紐付



スマホ画面に予約情報 (席位置や場所情報等) を表示  
(紙でのチケット発券は不要)



入場時にスマホをかざす  
(予約情報 (席位置や場所情報等) は画面に表示、紙は不要)



## ② スマホ決済

スマホの画面で電子証明書紐付  
クレジットカードを確認



スマホのカメラを利用した顔認証  
(パスワード入力やサイン不要)



スマホをICリーダライタにかざす  
(電子マネーを利用する要領)



決済完了

## ③ 個人別プッシュ型情報送信

事前にプッシュ型  
情報送信登録を実施 (本人同意)



①②等のような電子証明書  
の利用履歴を保存



行動履歴をビッグデータ解析し、個人にあった  
リコメント情報やクーポン情報を携帯メールで配信





## 主な実現の課題

### ①電子チケット

様々な場所へのICカードリーダーの設置が必要

※コンビニのマルチコピー機であればマイナンバーカードの利用が可能

### ②スマホ決済

様々な場所へのICカードリーダーの設置が必要

ICチップ内の顔写真イメージ（券面事項確認アプリ）の精度が運用に耐えうるかの検証が必要

P I Nなし認証利用条件（生体認証併用）の整理が必要

### ③個人別プッシュ型情報送信

本人同意の上でのビッグデータ活用の条件面確認が必要  
（個人情報保護法への抵触等の確認）



## これまでの課題

- 手続きが煩雑
- 保育所の空き状況がタイムリーにわからない

## スマートフォンなら

- いつでもどこからでも手続きができる「安心感」と「利便性」

保育所  
空き情報  
プッシュ型配信

児童手当情報  
プッシュ型配信

予防接種履歴  
情報紹介

乳幼児医療証





## ① 保育所入所情報照会（待機児童保護者向け）

現状

自治体の窓口にお問い合わせをしないと、保育所の空き情報や新設状況が分からない。

実現後

- スマホを利用した本人確認により、いつでもどこでも保育所の空き状況確認が可能。
- さらにマイナンバーカードの署名用電子証明書を利用することにより電子申請も可能。



## ② 児童手当プッシュ型配信

現状

申請後初めて所得制限を超えていることが発覚するケースがある。

実現後

- 控除額計算後の所得情報をもとに自治体がプッシュ型送信実施。
- さらにマイナンバーカードの署名用電子証明書を利用することにより電子申請も可能。



## ③ 予防接種履歴情報照会

現状

特に引越しをした場合、子供に何の予防接種をしたのかわからなくなるケースがある。

実現後

- スマホの電子証明書を利用したログイン後に自治体を跨る予防接種履歴の閲覧が可能。



## ④ 乳幼児医療証

現状

健康保険証と乳幼児医療証の2つのカードや紙を提示する運用。

実現後

- 健康保険証と乳幼児医療証の券面情報の画面表示。
- スマホを医療機関や調剤薬局のICカードRWにかざすだけで2つの資格確認を実施。





## 主な実現の課題

### ①（待機児童保護者向け）保育所入所情報照会

自治体毎に手続きが様々である

（統一可能であれば、実現の敷居が下がることが想定される）

### ②児童手当プッシュ型配信

マイナポータルのプッシュ型配信は、Webサイトへのログインが必要

更に登録したメールアドレスへの情報送信を行う仕組みが必要

（自治体にてマイナポータルとの連携サイトを構築する必要？）

### ③予防接種履歴情報照会

情報提供ネットワークシステムを利用した情報連携が開始されるH29年以降の実現となる

（自治体毎にマイナポータルの利用を行うのではなく、全国統一で情報照会であれば、国民の利便性がさらに向上すると想定）

### ③乳幼児医療証

券面情報をどのように画面表示方法の検討が必要

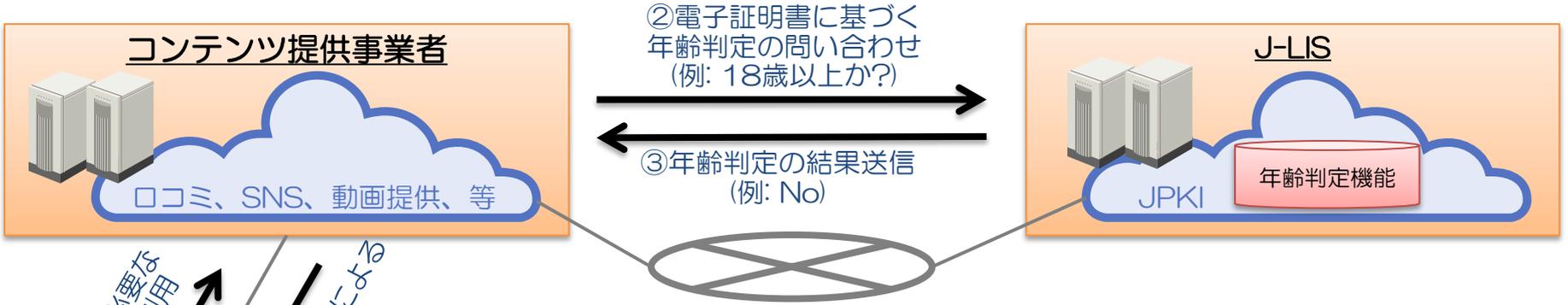
乳幼児医療証の対象年齢が自治体毎に様々で全国統一的な資格確認は困難と想定

健康保険証と併用する医療証は他にも存在するため、すべて同様の方法が可能か

# 1. スマートフォンによるWebサービス等使用時の年齢判定への活用 (特に低年齢層向けの安心・安全なWebサービス提供環境の整備を促進)

コースケース

スマートフォンは小学生、中学生等の低年齢層にも普及が進んできており、低年齢層が利用できるサービスの適切なフィルタリングの実現、特に利用者の年齢判定の適切な実現は課題の1つとなっている。  
 本課題については保護者等によるスマートフォンのペアレント機能等を用いた機能制限や、移動体通信事業者からコンテンツ提供事業者への利用者の年齢情報提供による対策が進められているところである。  
 SIMカードへ利用者証明用電子証明書が格納され、JPKIが利用者証明用電子証明書に基づく年齢判定機能を整備すれば、コンテンツ提供事業者がアクセスしてきた利用者へのサービス提供可否を、公的な年齢判定結果に基づき判定可能となる。  
 これにより特に低年齢層向けの安心・安全なWebサービス提供環境の整備を促進できる。



①年齢判定が必要なコンテンツの利用

④“③の結果”による利用可否



R18

R15

PG-12



前提条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>● SIMへの証明書格納について制度、システムの整備</li> <li>● JPKIへの年齢判定機能の整備</li> </ul>
検討課題 (案)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 年齢照会に係る費用の負担整理 (JPKI利用費、年齢照会に係るスマホ通信費、等)</li> <li>● 現行の年齢判定システムとのメリデメ整理等</li> <li>● スマートフォンからのWebサービス利用への活用だけでなく、他システム(販売機や入場機、等)への活用検討</li> <li>● SIMへ格納する証明書の運用条件検討 (マイナンバーカードに格納される利用者証明用証明書は15歳未満へ発行する際は法定代理人がパスワードを設定する運用。)</li> </ul>

# スマートフォンの利用者証明機能を活用した ユースケースについて

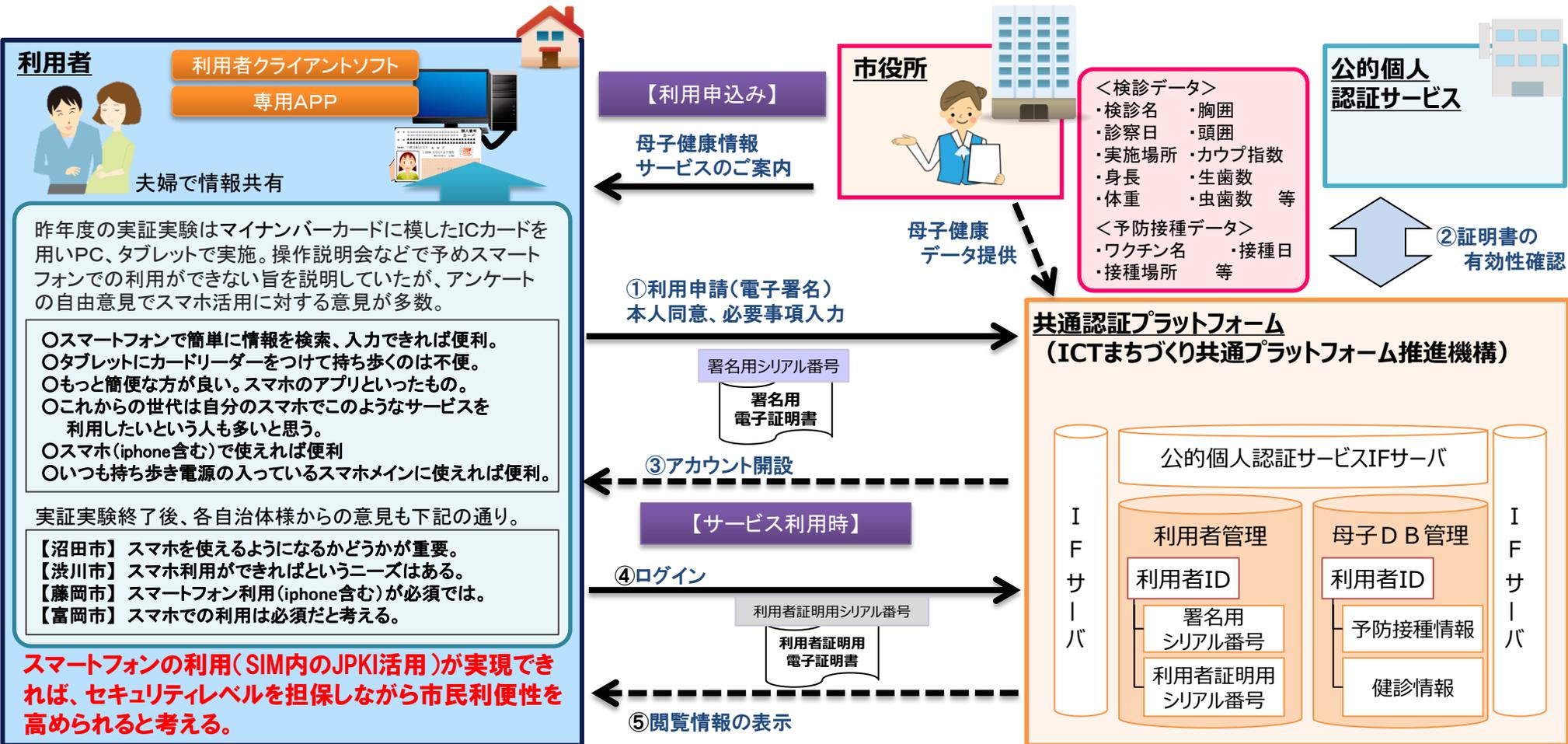
前橋市

## 【サービス概要】

・母子健康情報サービスは母子健康手帳に記載された情報を電子的に提供するサービスで、予防接種データや健診記録など自治体の保有するデータを市民に提供することで、子育て環境を応援し、市民利便性を高めるサービスです。

## 【個人番号カードの利用シーン】

・利用者は、個人番号カード（公的個人認証機能）を使って母子健康情報サービスの利用申請を行うとともに、各種母子健康情報を電子的に閲覧することができます。



TOP画面

妊婦  
(胎児)

妊婦  
(乳幼児)

【予防接種予定日リマインダ】  
予防接種の予定日を登録すると表示される。

【市町村からのニュース & お知らせ】  
住んでいる市町村のHPで発信されているニュースはもちろんのこと、HPには載っていないお知らせ情報を発信、通知が可能。

【成長のきろく入力】  
タイムラインに表示される、日記、写真、はじめての記念日を登録できる。

【タイムライン】  
「成長のきろく」で入力された日記、写真、はじめての記念日、健診の受診情報、ワクチンの接種情報等を時系列で表示。

【マタニティ体重グラフ】  
妊娠時体重に対する体重の増加を折れ線グラフで表示。

【妊婦健診情報】  
健診情報の記録、閲覧。市町村から連携される健診データもここから閲覧。

【おすすめの読み物】  
妊娠週数に応じたおすすめの読み物を表示

【胎児発育曲線】  
胎児の体重の増加を折れ線グラフで表示。

【乳幼児身体発育曲線】  
乳児・幼児の身長と体重の増加を折れ線グラフで表示。標準的な身長と体重の増加範囲に対する現在のポジションを見ることができる。

【予防接種】  
予防接種の説明を読み、おおよその接種目安日を見ることができる。接種予定日と接種した日の登録をすることができる。